



梅雨前線の形成と冷夏に関する問題

共通テスト

第2問 A 問1

問 1 次の文章中の **ア** ～ **ウ** に入れる語の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 107

次の図 1 は梅雨期の天気図である。**ア** 高気圧と太平洋高気圧(小笠原高気圧)の間に前線が形成されて日本付近に停滞するため、雨や曇りの日が多くなる。太平洋高気圧が優勢となると前線が北上すると梅雨が明ける。

ア 高気圧の勢力がいつまでも強い場合は梅雨明けが **イ**、東日本の太平洋側では **ウ** になりやすい。

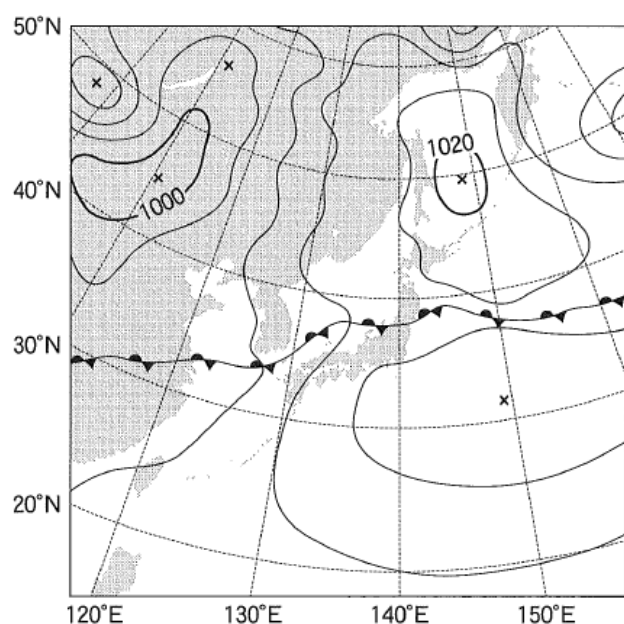


図 1 梅雨期の天気図

数値の単位は hPa。×印は低気圧または高気圧の中心位置を示す。

	ア	イ	ウ
①	シベリア	遅 れ	冷 夏
②	シベリア	早 まり	暑 夏
③	オホーツク海	遅 れ	冷 夏
④	オホーツク海	早 まり	暑 夏

河合塾

第3回 全統共通テスト模試 地学基礎 第2問 B 問3

B 地上天気図に関する次の問い(問 3・問 4)に答えよ。

次の図 2 は、1993 年 7 月 21 日の地上天気図である。この日のように、**ア** 高気圧から冷たく湿った **イ** の風が北海道～東北地方の太平洋岸に吹き込む日が多い夏には、北日本で冷害が発生しやすい。この風を「やませ」といい、高度が低い層雲や霧がやませに伴って発生し、日射が遮られて稲の生育に悪い影響が出る。

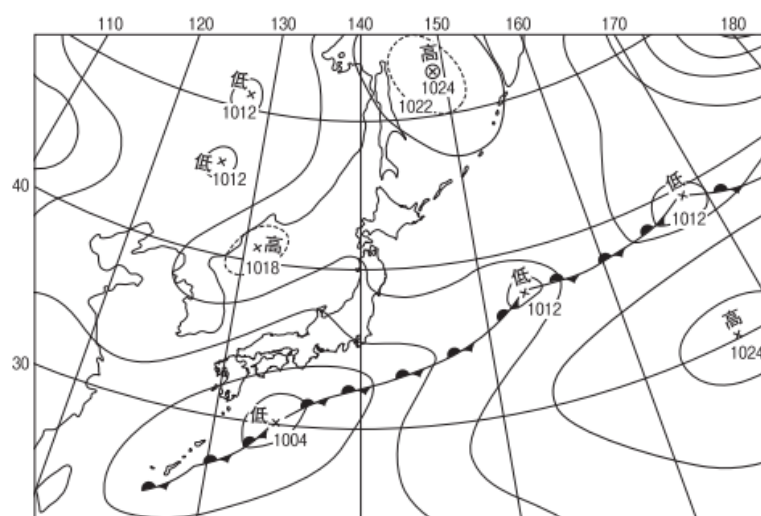


図 2 1993 年 7 月 21 日の地上天気図

問 3 文章中の **ア**・**イ** に入れる語の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 10

	ア	イ
①	オホーツク海	北 東
②	オホーツク海	南 西
③	太平洋	北 東
④	太平洋	南 西

共通テストでは、オホーツク海高気圧の勢力が強いと冷夏になることが問われているが、第 3 回共通テスト模試では問題文の方にそれが書かれているので、河合塾の模試を受けていれば取り組みやすかったであろう。